【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【公表番号】特表2015-507549(P2015-507549A)
【公表日】平成27年3月12日(2015.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2015-016
【出願番号】特願2014-545031(P2014-545031)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　65/48　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/22　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/10　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　175/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｊ　5/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　65/48
Ｃ０８Ｇ　18/22
Ｃ０８Ｇ　18/00　Ｆ
Ｃ０８Ｇ　18/10
Ｃ０９Ｊ　175/04
Ｃ０９Ｊ　5/00
Ｃ０８Ｇ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成27年11月17日(2015.11.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
熱成形可能な硬質ポリウレタンフォーム及び被覆材料を含む複合部品の製造方法であって、熱成形可能なポリウレタンフォームを提供し、被覆材料に接着接合する際に、アルカリ性のアルカリ金属水溶液と接触することで硬化する湿気硬化型ポリウレタン接着剤を接着剤として使用し、前記アルカリ性のアルカリ金属水溶液が１０質量％未満のケイ酸塩を含むことを特徴とする複合部品の製造方法。
【請求項２】
前記アルカリ性のアルカリ金属水溶液が本質的にケイ酸塩を含まないことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記アルカリ性のアルカリ金属水溶液の濃度が、前記アルカリ金属に対して０．１ｍｏｌ～１０ｍｏｌであることを特徴とする請求項１又は２のうちいずれかに記載の方法。
【請求項４】
前記アルカリ性のアルカリ金属水溶液のｐＨが少なくとも１０であることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記アルカリ金属がナトリウムもしくはカリウム又は前記二つの混合であることを特徴

とする請求項１～４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項６】
前記アルカリ性のアルカリ金属水溶液を１０ｇ／ｍ^2～１５０ｇ／ｍ^{2}の量の熱成形可能な硬質ポリウレタンフォームに適用することを特徴とする請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
前記湿気硬化型ポリウレタン接着剤が、前記湿気硬化型ポリウレタン接着剤の全質量に対して少なくとも８０質量％のイソシアネート末端プレポリマーを含み、前記イソシアネート末端プレポリマーは、化学量論超過の芳香族イソシアネートと、イソシアネートと反応する少なくとも２個の基を有するポリマー化合物、イソシアネートと反応する１個の基のみを有する任意の化合物、及び任意の鎖延長剤及び／又は架橋剤との混合によって得られることを特徴とする請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記イソシアネート末端プレポリマーのＮＣＯ含有量が、５質量％～３０質量％であることを特徴とする請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記接着剤を硬化するために、前記アルカリ性のアルカリ金属水溶液とは異なる他の触媒を使用しないことを特徴とする請求項１～８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
前記接着剤を、２０ｇ／ｍ^2～３００ｇ／ｍ^{2}の量の熱成形可能な硬質ポリウレタンフォームに使用することを特徴とする請求項１～９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
前記熱成形可能なポリウレタンフォーム、前記被覆材料及び前記湿気硬化型ポリウレタン接着剤を６０℃～１８０℃の型温を有する型内で接着接合することを特徴とする請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法によって得ることができる複合部品。
【請求項１３】
車両における請求項１２に記載の前記複合部品の使用方法。